

沖縄修学旅行& 同朋オープン・フォーラム報告



卒業式シーズンを迎えます。

♪ 悲しいことがあると 開く皮の表紙 卒業写真のあの人は やさしい目をしてる…

卒業ソングの定番、『卒業写真』という曲です。40年も前の曲ですが、耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

この中に出てくる「あの人」は片思いの人が恋人だとずっと決めつけていましたが、実は年輩の女性教師のことだったと

曲を作った松任谷由美さんが後に明かしています。卒業しても、遠く離れても、みなさんとの関係は続きます。

同朋で出逢ったのも何かの縁。

これからは、少し離れて見守っていきます。

同朋高等学校長 梅田 功



「人生に無駄はなし」

これから歩いていく道には様々な出来事が待ち受けています。楽しいことばかりではありません。辛いこと、悲しいこともあるでしょう。しかし、起こった事柄すべてに意味があり、必然のできごとであり、みなさんを成長させてくれるものです。すべてを受け入れ、何事にも誠実に一生懸命取り組むことで、すてきな人生にしてください。

301担任 林 雄二

卒業おめでとう。3年間どうでしたか？ 3年間でさまざまなことを経験し、多くのことを学んできたと思います。私も同じです。みなさんと共に経験し、共に学んできました。みなさんから学んだこともたくさんありました。これから先歩んでいく中で、どんなに小さくても必ずそこに“学び”があります。“学ぶ”ことを忘れずに、真摯に生きましょう。可能性は無限大！人生は自分次第！！

302担任 山本 明里

卒業おめでとう。これからみなさんはそれぞれの道に進んでいきます。たくさん悩み選択したと思いますが、それが正しいものだったのか今はわかりません。選んだことより、選んだ道でどれだけ努力するかが大切だと思っています。将来、自分の人生を振り返ったとき、選択したものすべてが正しかったと思えるよう努力し続けてください。そして、自分だけの人生をつくってください。

303担任 荒川 諒太

○ 徹する覚悟 自分の感情や欲求ではなく、自らに求められる役割を優先せよ
○ 攻める覚悟 やってしまふ失敗を恐れるのではなく、やらない失礼を恥じよ
○ 律する覚悟 言い訳を考えるのではなく、自らの責任で行動せよ
円滑な人間関係を築くには、まずは他人としっかりと向き合うこと。それには「覚悟」が必要です。何事にも正面から誠実に取り組める人になってください。

304担任 石塚 亜衣

心掛けを持てば心が変わる
心が変われば態度が変わる
態度が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる

これはヒンズー教の教えの一つだそうです。ただし、1行目は私が書き加えました。私は同朋での出会いを通して、心掛けたことをいろいろ見つけることが出来たように思います。心掛けは心に繰り返し唱える何か。時にこれに変わらされているように感じます。
みなさんの前途にたくさんの出会いがありますように。卒業おめでとう。

305担任 山中 裕香子

3年生のみなさん、3年間ありがとう。

【有難う】とは「ある」ことが「難い」という意味で、他人からの気遣いに対する感謝の言葉です。何をしてもらっても【当たり前】と思い、不平不満に溢れてしまわないよう、毎日「ありがとう」という言葉で自分のまわりに感謝を溢れさせましょう。
自分の幸せは他人の幸せに、他人の幸せを自分の幸せに、【感謝】に溢れる人生を！
3年間、私に多くのことを伝えてくださって本当にありがとう。

306担任 森岡 優介

《鏡は先に笑わない》私が私立の教員を目指すきっかけとなった言葉をみんなに贈ります。鏡の中の自分は決して先に笑いません。自分が笑えば、相手も笑ってくれるかも。自分が変われば、相手も変わってくれるかも。逆を言えば、自分が変わらなければ、相手も変わってくれません。何事も自分から行動することが大切なのです。大きく成長したみんなになら伝わるかな？
卒業おめでとう。みんなとの出逢いに感謝しています。

307担任 萩原 夕貴

卒業おめでとう。月日が経つのは早いものですね。この3年間でどう過ごしたかは人それぞれ違うと思います。しかし、時間だけは何かあっても平等です。限られた時間をどう過ごしていくかを常に考え、積極的に多くの体験を行えば必ず大きく成長します。卒業はあなたの人生の新たな出発点でもあります。これまでの経験を活かしながら新たに吸収して、豊かな人生を歩んでください。

308担任 鬼頭 大信

卒業おめでとう。君たちの本当のスタートはここからです。「どんな道を選んだのか」ではなく「選んだ道で何をするか」。この先の人生を豊かにしていくのは自分自身です。投げ出したり、諦めたりすることは簡単ですが、自分と向き合い、前を向いて歩んでください。迷ったら振り返りましょう。私たちはここにいます。

309担任 本田 裕規

卒業おめでとう。最後にひとつ言葉を贈ります。
“Where there is a will, there is a way.” つまり「意志があるところに道はできる」
自分自身がどうなりたいかという意思を明確に持つこと、行動に移すこと。この2つを大切にしてください。

310担任 大島 江介

卒業おめでとう。ほとんどの人が「あっという間の3年間」だったと感じているのではないのでしょうか。これから先の人生、もっともっと時間は早く過ぎていくでしょう。時は待ってってくれないのです。1分1秒を大切に生きてください。

311担任 鍋木 勇樹

Schedule 〈行事予定〉

2月		
20	月	2年生音楽科午前授業
21	火	2年生音楽科学年末考査(～27日)
27	月	学年末考査(～3月3日)
3月		
3	金	2年生音楽科修学旅行(～9日)、2年生食育講演
4	土	数学検定
7	火	1年生学年行事
8	水	2年生学年行事
14	火	進級判定発表
17	金	修了式
4月		
5	水	在校生登校日
6	木	入学式
7	金	始業式

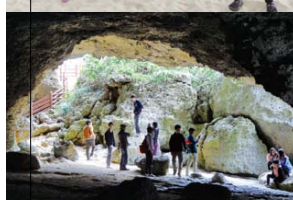
平成28年度「愛知県私立学校経常費補助金」の交付金額が決定しました

保護者のみなさまには、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。また、助成金署名や地域ごとに開催された「地域別県民文化大祭典～オータムフェスティバル」など、私学助成拡充の運動にご尽力下さいまして厚く御礼申し上げます。

平成28年度の同朋高等学校への愛知県私立学校経常費補助金交付額が下表のように決定いたしましたのでご報告いたします。みなさまのご協力により、ほぼ例年並みの補助額となりました。このことに感謝申し上げるとともに、教育条件の一層の充実と財政の安定化に引き続き努力する所存です。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

●同朋高等学校「愛知県私立学校経常費補助金」交付決定額

年 度	一般補助金	特別補助金	事務費	総 額	生徒数	1人あたり補助額
平成28年度	444,248千円	21,513千円	947千円	465,176千円	1,243人	374,237円
平成27年度	445,487千円	19,764千円	937千円	465,064千円	1,225人	379,644円
平成26年度	411,689千円	15,477千円	882千円	426,992千円	1,180人	361,858円



平和宣言文

戦争とは意見の食い違いの後、話し合いの最終手段として用いられ、命だけでなく心までも殺してしまう残酷なものである。この日本でも、多くの人が互いに殺し合い、悲しい涙を流した過去がある。沖縄では国内最大の地上戦がくり広げられ、人々はいつ来るか分からない死に怯えていた。しかし、私たちは戦争が終わってから生まれたので、過去のことを詳しく知らない。

現在、私たちは何の不自由もなく安心して明日を迎えることができる。家族・友達の存在、帰る場所や心安らぐ空間、その一つ一つの当たり前が私たちを支えている。その一方で、平和と言われる現代でも誘拐事件や殺人事件、麻薬使用による逮捕などを放送しているニュースを見ると、まだまだ世の中は未熟だと思う。一人ひとりが平和と思えなければ本当の平和とはいえないのではないか。誰かの犠牲や涙の上に成り立つものは平和には繋がらない。

私たちは過去に起こったことを取り消すことは出来ないが、未来に生かすことは出来る。平和に対して無関心でいてはいけない。戦争がどれだけ恐ろしく残酷なものかを深く学び、二度と起こさないために相手を尊重し合わなければならない。そして私たちの子どもへ、子どもから孫へ、孫からその子供へ後世に平和を繋げることで、いつか世界が思いやりと優しさで満ち溢れる日が来るだろう。

過去をなかったことにせず、今があることに感謝をして平和をつむいでいくことを宣言します。

同朋高校2年6組 一同

※本年度は、全国共通の平和宣言文を、2年6組が代表クラスとして作成しました。



修学旅行を振り返って

修学旅行



2年生普通科商業科の生徒が3団に分かれ、「沖縄修学旅行」へ出かけてきました。今年度は全団とも天候に恵まれ、日を追うごとに暖かくなっていく沖縄の氣候に、生徒たちも大変喜んでいました。日頃の学校生活を離れ、豊かな自然と文化を兼ね備えた沖縄でのさまざまな体験は、生徒にとって貴重な学びとなりました。初日は沖縄平和ネットワークの方にガイドをしていただき、南部戦跡地等を巡りました。ひめゆり資料館や平和の礎(ガマ・壕)での平和祈念式典など、事前に学んできたことを活かして現地での学びを深めました。2日目のコース別研修は、シュノーケリングやビーチクラフトなどの自然体験、米軍基地を見学し軍属の方とディスカッションをするツアーなど、各地で学び、楽しむ生徒の姿を見ることができました。2日目夕方から3日目にかけての伊江島民泊では、おじいおばあ様の優しさに触れました。家庭料理をふるまっ

いただいたり、島内を巡ったりと非常に充実した時間となりました。最終日は嘉数高台、首里城をまわり、国際通りで買い物などをする旅程で、今の沖縄を感じることができました。行事の成功には準備が欠かせません。社会・国語・英語での事前学習や、民泊学習平和・演芸委員の事前準備など、生徒も教員も十全な準備をして臨んだからこそ、充実した修学旅行にすることができました。また、修学旅行では生徒の成長も感じました。生に度の高校修学旅行だからこそ、良いものにしたという思いが伝わってきました。規律もおおむね守り、全員が無事に帰ってくることができました。修学旅行を実施するうえで、多くの方にご助力いただき、生徒の心に残るものを創ることができました。お世話になったみなさま、ありがとうございます。(2年生学年主任／小堀 能任)



社会科では平和学習を時期を3回に分けて実施しています。事前学習の範囲は古代から沖縄戦までです。大切にしたのは沖縄戦での「顔の見える授業」。日本兵・ひめゆり学徒隊・住民など、それぞれの人物にスポットを当ててさまざまな角度から平和を考えました。また、修学旅行で訪れる場所について調べ学習や発表学習で理解を深めました。修学旅行中にはいくつかの場所でワークシートを作成しました。目的は事前学習で学んだ内容を実際に感じること。さらに、SNSを利用した課題を設定し、さまざまな価値観の共有を目指しました。事後学習では基地問題を学んでいます。沖縄戦後、平和になったはずの沖縄。その実態を、現地で見てきた「違和感」に注目して授業を始めました。約4ヶ月の平和学習は現在進行形であり、生徒の考える沖縄のイメージも変わりつつあります。生徒の学ぶ姿勢は素晴らしく、平和学習をよりよいものにと改めて感じています。(社会科／鶴岡 昌毅)

平和学習について



同朋オープン・フォーラム2016 報告

2016年11月12日に実施された「同朋オープン・フォーラム2016」。今年度の挑戦は、PTA四委員会で分担しての全体会・分科会運営、「全クラス公開授業」（前年度は教科別特別公開授業でした）の実施、そして2回の「生徒事前学習会」でした。

保護者の意見から

「全クラス公開授業」を実施しました!!

2015年度、国語・社会・数学・理科・英語・商業の6教科で、保護者参加体験型の公開授業に取り組みました。今年度は、保護者のみなさまの要望を受けて、11月9日（水）5・6限、11月10日（木）3・4限の2日間、ほぼ全クラスでの公開授業が実現しました。PTA常任委員のみなさまが交代で受付をしてくださいました。昨年の経緯から、各教科会議で「おすすめ授業」も選定しました。今回は授業中の見学者移動も可としたので、本校の多様な授業への取り組みを感じていただけたのではないのでしょうか。見学者によるコメントは、後日の授業づくりに役立てる予定です。

当日助言者の松田正久先生（同朋学園学監・元愛知教育大学学長）からの依頼で、同朋大学の教員免許取得希望者（大学生）の授業見学も実現しました。高大連携を学内ですすめる上でも貴重な財産となりました。公開授業参加者は、9日119名、10日70名、合計189名でした。

国語科：グループワークで活発に討論	社会科：これからの市民教育
数学科：身の回りに潜む数学	理 科：実験の世界へようこそ
保健体育科：「できる」「わかる」「楽しむ」	芸術科：芸術系・デッサン
英語科：Experience Doho English!	家庭科：ミニチュアパーカーをつくらう!
情報科：色のデジタル表現	音楽科：迷曲の中に潜む名曲
商業科：めざせビジネスマスター	～"I"から"We"～

名大・石井先生、愛知学院大・森先生による事前学習を行ないました



今回の特徴の1つは、生徒が事前学習会を経て当日討論に臨むというものでした。前生徒会役員からの「準備をしなければ討論できない」という言葉から2回の生徒事前学習会が実現しました。

1回目の学習会は、10月21日名古屋大学大学院教育発達科学研究科の石井拓児先生（教育行政学）。大人として「世界に目を向

け、自分の社会を見直す」ことを、日本の過酷な労働環境や実際の事件、日本と米国と西欧と労働時間の違いから説明、どう生きるか考えさせてくれました。2回目は10月31日。愛知学院大学総合政策学部の森正先生（政治論）は、「若い世代の投票率が低いと、若者にとっての施策になりにくい」ことをパワーポイントで説明、大人として政治を考え、選挙に投票することの重要性を教えてくださいました。



保護者・生徒・教員・市民、四者で考えた分科会

全クラス公開授業や2つの生徒事前授業を受けて当日の前半はゲストの紹介、夏に行われた地域懇談会で出された保護者のみなさまからの要望・質問に学校から返答をする全体会を実施しました。

後半は、3つの分科会に分かれての「学び」と「交流」の場となりました。「大人な18歳になるために」をテーマとした第1分科会では、生徒会役

員、各クラス正副委員長、卒業生などの生徒が参加し、PTA生活指導委員会が準備を担いました。現生徒会長や卒業生からの報告を受け、それぞれの立場から「大人になる」ということについて意見を交わし、「大人になることの意味」「スマホ使用」について話し合いました。

第2分科会では、「進路決定までの道のり」を卒業生や卒業生保護者の3人が語るなかで、「進路決定は誰がするのか」「高校生活で何を大切にするのか」を交流しました。PTA文化委員会が準備を担いましたが、リオ五輪女子柔道ブラジルナショナルチーム指導の藤井裕子さんのミニ講演があるということで、女子バスケットボール部と柔道部が全



員参加しテレビ取材もあり盛り上がりしました。藤井さんの「生徒を私のモノという気持ちで指導したことはない。柔道の技術や礼儀や思いやエネルギーを伝えた」「大人がリミットをつくってはだめ」といったお話に、参加者の共感が広がっていました。

第3分科会は「わくわく公開授業を終えての意見交流会」。PTA地域懇談委員会が十数回集まって準備をし、当日は、社会科の鶴岡先生の沖縄学習ミニ授業と、4つの分散会（「授業のあり方・進め方」について）を企画しました。

その後のまとめ集会では、各分科会の様子を保護者代表が報告。各分科会参加の大学研究者全員からコメントをいただきました。全体会は、PTA事業委員会が受付・司会の準備をしました。

●2016年度フォーラムのコメントター

同朋学園学監	松田正久先生（元愛教大学長・物理学専門、第1分科会参加）
同朋大学	眞有澄香先生（文学部・教職指導担当、第3分科会参加）
名古屋音楽大学	川井敏夫先生（音楽ビジネスコース、第2分科会参加）
愛知学院大学	榊原博美先生（総合政策学部・教職指導担当、第1分科会参加）

フォーラム後、生徒が名古屋大学訪問

生徒実行委員は、「働くということとは何か」「なぜ過労死がおこるのか」をより学ぶため、冬休みに代表5人が名古屋大学石井研究室を訪問し生徒会ニュースも発行しました。

生徒・保護者・教員・市民それぞれがお互いの意見を出し合い、さらに事後活動も行われることによって、次の教育のステージにつながると感じさせるフォーラム2016でした。実行委員のみなさま、参加されたみなさま、ありがとうございました。来年度もよりしく願いいたします。

総参加者数

全体会	保護者 57名	生徒 43名	教員 44名	市民25名 (大学、報道関係者含む)
1分科会	保護者 7名	生徒 17名	教員 19名	市民7名 (大学、報道関係者含む)
2分科会	保護者 14名	生徒 34名	教員 8名	市民8名 (大学、報道関係者含む)
3分科会	保護者 22名	生徒 5名	教員 8名	市民7名 (大学、報道関係者含む)

（実行委員会事務局／宮城 道良）



修学旅行感想文

201 村尾 優香里
（ほとり中学校出身）



208 求野 未紗
（北山中学校出身）

授業で習っていた「沖縄戦」を実際に目で見て、聞いて約70年前ここで人が亡くなったり殺されたりしていたとは信じられなかった。平和ガイドさんのお話は、起こったことの例や歴史、被害について、聞いていて本当に心が痛くなった。

コース別研修で、米軍基地へ初めて入ったことは貴重な経験となった。軍属の方や米兵の方の話を聞くと、「想像と違って、米軍の方は良い人たちかも」と思えるような内容もあった。今まで沖縄の人たちの意見をコースで見ていたので、逆に分からなくなっ

た。だからこそ、これは難しい問題なのだと改めて気付かされた。

テレビなどで見る綺麗な風景が飛行機から見えた瞬間、私が住んでいる街では見られないものが見えて、どこか日本ではない所へ来た気分になりました。しかし、多くの人の話を聞いていくなかで、「平和」について考えさせられました。平和そうに見える沖縄ですが、平和ではないということを実感する話ばかりだったからです。

私は毎日が平凡でつまらないと思っていましたが、「この『毎日がつまらない』と思えるという事は、『毎日が平和』とも言えることができます。だからこそ、今の暮らしに感謝して生きている事が一番大事だと思うようになりました。

じんぶん学校の「じんぶん」は沖縄の言葉で知恵という意味だそうです。高い山を登っていくと、アニメでしか見たことがなかった「トトロの傘」のような植物が本場にあるのだとビックリ！このコースでは決められたことをするのはなく、自分ですることを決めます。キーホルダー作りもとても優しく教えてくださいました。お昼、飯も手作りで、自然のものからできているので本当に美味しかったです。初めの海釣りや海辺の散歩など、現実を忘れるほどゆつくりとすることができました。

民泊では、お世話になった家族の方から初めて会った私たちに「会ったのは何かの縁だから私たちを家族・兄弟だと思ってね！」とおっしゃってくださいました。普通の旅行では体験できない家庭料理やおかし作りを味わうことができました。伊江島の際は、今まで一番青く透き通り、キラキラしていて感動しました。名古屋に帰ってもきっと伊江島とそこの家族の思い出は忘れないと思います。

● 修学旅行日程

〈1日目〉 中部国際空港 ―――▶ 那覇空港 ―― 平和ガイド各バス乗車 ―― ガマ見学 ―― ひめゆりの塔 ―― 荒崎海岸 ―― 平和記念公園 ―― ホテル

ホテル ―― コース別研修 ―― 本部港 ◡◡◡ 伊江港 ―― 伊江島民泊〔コース別研修〕
 〈2日目〉 ①シュノーケリング体験＋美ら海水族館 ②自然洞窟体験＋美ら海水族館
 ③ジゴンの棲む海で沖縄の今を考える ④めんそーれ「じんぶん学校」
 ⑤米兵と学ぶ沖縄

〈3日目〉 伊江島内研修（民家体験学習） ―― 伊江港 ◡◡◡本部港 ―― ホテル

〈4日目〉 ホテル ―― 嘉数高台 ―― 首里城 ―― 県庁前～国際通り散策 ―― 那覇空港 ―――▶ 中部国際空港



職業と進路を考える集い 1年生

10月18日(火)に、1年生を対象にしたキャリア教育を行いました。1学期には全体会として社会人の方の話を聴きました。今回は分散会形式で、生徒の進路希望に合わせて卒業生を中心に社会人の方の話を伺いました。講師の方々には、その仕事に就くに至った経緯、仕事の内容ややりがい、苦労、必要な資格などについてお話いただきました。資料には載らないような「生の声」を聴くことができ、生徒たちは熱心にメモを取りながら将来に夢を膨らませていました。

(1年生進路担当／内田 義博)

音楽科 第48回卒業演奏会

1月9日(火)、電気文化会館内ザコンサートホールを会場に、3年生音楽科生徒による「第48回卒業演奏会」を実施しました。この演奏会には、オーディションで選ばれた電子オルガン・ミュージカルマリンバ・クラリネット・打楽器声楽ピアノの各専攻の生徒が出演しました。

また1・2年生も、3年生の演奏に熱心に耳を傾けていました。ご来場いただいたみなさまより惜しみない拍手もいただきました。同朋高校音楽科で3年間学んだことを糧に、これからの人生を歩んでほしいものです。

(音楽科／鍋木 勇樹)



オーストリア修学旅行へ出かけます

3月4日(金)から9日(木)の予定で、2年生音楽科生徒がオーストリアのウィーンやザルツブルクへ修学旅行に出かけます。モーツァルトやベートヴェンなど多くの著名な作曲家や演奏家を輩出した芸術の都へ出かけ、まさに「本場の空気」を味わってきます。また、平和学習の一環としてナチス強制収容所も訪れます。

商業科 マナー講座・ライフプランニング学習

昨今、「賢い社会人」「賢い消費者」の育成が求められていると言われます。本校商業科は、こうした社会からの要望を受け、「最前線で活躍する社会人から学ぶ」「機会を多く取り入れた教育を実践しています」。

マナー教育の一環として、化粧品メーカーの株式会社アルビオンと共同授業を実施しました。同社は、化粧品の対面販売に力を入れており、従業員に対する接客マナー教育を徹底されていることが知られています。今回はまもなく卒業する商業科3年生を対象に、あいさつ、姿勢、おじぎ、自然な笑顔といった点に力を入れた指導をいただきました。

その後、男子グループと女子グループに分けた実習に取り組みしました。最近、男性に対するスキンケアの必要性が話題に上がり、男性用基礎化粧品も多く販売されています。そこで、男子生徒は「正しい洗顔法と日常の手入れ法」を学びました。一方、女性雑誌などでは、「流行のメイク法」特集がよく取り上げられています。そこで女子生徒は、流行ではなく「人から好感を持たれるベースメイク法」を学びました。こうした共同授業を通して、「マナー」として周囲に不快感を与えない人間へと成長する一助となったのではないのでしょうか。

また、消費者教育の一環として、商業科3年生を対象に「ライフプランニング



学習会」を実施しました。昨年同様、ソニー生命株式会社のライフプランナーにお越しいただき、夢のような贅沢な人生設計のシミュレーション後、専門家のアドバイスをもとに生活を見直しました。その結果、大きな負債を抱えることなく、また、やみくもに生活を切り詰めることもなく、家族旅行や二戸建ての取得といった夢を実現しながら、幸せな生活を送るシミュレーションをすることができました。中には、多額の貯蓄を活用し、マンション経営に臨むグループが現れるほどでした。

生徒たちは、社会で活躍する社会人の姿を自分の目で見ることで、将来の自分の姿を重ねていくようです。今後も本校の教育活動に「理解いただけの企業と提携しながら、賢い社会人賢い消費者を育成する教育に力を入れていきます」。

(商業科主任／本田 裕規)

報恩講

「共なるいのちを生きる

11月28日は、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日です。親鸞聖人の教えを建学の精神とする本校は、本年度は11月21日に1年生全生徒が、同朋大学・成徳館ホールに集いました。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、今を生きる私たちまでお念仏の教えを伝えてくださった先輩方に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる御仏事です。同時にそれは親鸞聖人の言葉に出遇い、自らの生活を振り返るお勤めでもあります。今年度の



報恩講は、各学科の代表生徒による献花のほか、音楽科生徒のリードで「三帰依(パーリ文)」を唱和し、同朋大学学長の太田清史先生に法話をいただきました。太田先生ご自身の経験をお話いただき、「共なるいのち」について考えを深めることができました。

報恩講を通してお念仏の教えに出遇い、自分を見つめ直し、「同朋」という他者と認め合い、共に生きていける「縁となれば幸いです」。

(宗教主任／柏原 良教)



Club & Award News

柔道部

- 第39回尾張・名古屋・知多新人体重別大会

男子60kg級 第2位 杉浦 冬唯(206/岐阜市立岐阜西中学校出身)

男子73kg級 第2位 藤井 樹(210/当知中学校出身)

男子90kg級 第3位 原田 秀平(211/荻瀬中学校出身)

女子48kg級 第3位 吉田 美森(207/豊川市立西部中学校出身)

女子70kg級 第2位 柿原 宮七(103/一宮市立大和中学校出身)

女子78kg超級 第2位 金田 綾(206/一宮市立千秋中学校出身)

女子78kg超級 第2位 宿院 麻帆(110/植田中学校出身)

- 平成28年度愛知県高校新人大会

女子48kg級 第3位 大野 楓佳(210/白川村立白川中学校出身)

女子63kg級 第2位 小山 真季(205/豊川市立東部中学校出身)

剣道部

- 平成28年度愛知県高等学校新人体育大会剣道競技名南支部予選会

男子団体 第3位

女子個人 第3位 大島 優里(211/名塚中学校出身)

男子ソフトボール部

- 第4回全国私学男子ソフトボール大会東海ブロック予選

4位 全国大会出場

男子バスケットボール部

- 第47回全国高等学校選抜優勝大会バスケットボール競技 Eブロック 優勝

- 第47回全国高等学校バスケットボール優勝大会愛知県大会 ベスト16

女子バスケットボール部

- 第47回全国高等学校バスケットボール優勝大会愛知県大会 ベスト8

- 平成28年度愛知県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技名南支部予選会 第8位

ラグビー部

- 第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会 ベスト16

女子蹴球部

- 平成28年度愛知県高等学校女子サッカー選手権大会 第3位

乗馬部

- 平成28年度愛知県高等学校新人体育大会馬術競技

団体総合 第2位

障害飛越 優勝 舟橋 汰一(109/東海市立上野中学校出身)

馬場馬術 第3位 裏見 華音(108/はとり中学校出身)

- 平成28年度愛知県高等学校新人体育大会馬術競技

団体総合 準優勝

障害飛越の部 優勝 舟橋 汰一(109/東海市立上野中学校出身)